

## 26 自動車産業・次世代自動車について / 宮崎 允夫 会員



この度の東日本大震災により自動車産業は大打撃を受けています。自動車は約3万点の部品から成っています。今までは名古屋を中心とした東海地方に工場が集中していましたが、東海地震が予想されるため、分散させなければということで、本社を茨城や福島へ移してしまったところがかなりありました。

静岡は地震の被害はなかったのですが、我々車を売る側は大変な波を被っているのが現状です。80%が買い替え需要なのですが、「大震災のあったこのタイミングで買わなくても…」という感じが広まって需要が猛烈に減退しています。

日本において自動車産業がおかしくなりますと、あらゆる産業に影響が出てくると思います。皆様方は被害がなかったのですから、自粛などせずに車の買い換えを行って頂きたいと思います。

「次世代自動車」について/去年、経済産業省が次世代自動車戦略を発表しました。これはエコカーを2020年までに全体の20%~50%にしようというものです。ハイブリット車、電気自動車とありますが、電気自動車の一番の泣き所はバッテリーです。最近では高性能のリチウムイオン電池が開発されてきましたが、それでも車両重量の20%ぐらいを占めており、また非常に高額であります。経済産業省より、2010年を「1」として。性能を2015年までに「1.5」、価格を1/7にしろという要求が来ています。

今後電気自動車は、電気自動車らしい進化が予測されます。双方向の充電などですが、これは家庭の蓄電池として使用するという事です。停電時には普通の家庭で使う1日分程の電気は車から取ることができるようになります。

また太陽光発電と電気自動車をつなぎ、コストをかからなくする事も可能となります。

## 27 塗料について / 竹下 幸嗣 会員



ロータリーの職業分類では「塗料配布」となっております。また、産業分類では「卸売業」に該当します。扱っている商材は、塗料・看板資材・プラスチック加工品です。このデフレ経済が進む中、卸売業の存在というものが問われているのが実態です。

当社としては、工事部門に力を入れ、工場やビル、一般住宅の塗装工事や防水工事、上下水の処理場樹脂のライニング工事を手掛けています。また、製造部門として、大型トラックの導風板、道路標識などを扱っています。

今まで支えてくれていたユーザーが、素材の変更や技術の進歩などで取引が縮小していく中で、同じ事をやっているだけでは衰退してしまうという事で、新しい展開を模索しているところです。よく「経営は環境適応業」と言われますが、変化の激しい時代に流れに乗り、継続させる事は大変難しい事だと実感していますが、挑戦しなくては前に進めないということで頑張っております。

当社の主力商品の塗料のお話をさせていただきます。一般的にはあまり馴染みがないかも知れませんが、回りを見回すと建築・橋梁・自動車・新幹線・船舶・飛行機・携帯電話・家電製品など、ありとあらゆる所に塗料は使われています。機能としては、物体の保護、美観があり、品質の向上、快適性、経済性、環境などの面で新しい時代の流れに沿った社会の進歩とニーズに応えています。「町並みを彩る・物の価値を高める・機能性塗料により人の暮らしを守る」をキャッチフレーズに今後とも幅広く活動していきます。

### 委員会報告

今回はありませんでした。

### 出席報告..... 宮崎副委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	4/4	44名	38名	3名	—	(0名)	92.0%
前 回	4/11	44名	37名	6名	90.0%	(0名)	—
本 日	4/18	44名	29名	10名	70.0%	(5名)	—